農山漁村振興交付金(中山間地農業推進対策)のうち

# 11 農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業 ~地域で支え合うむらづくりの推進~ 令和8年度予算概算要求額 8,575百万円(前年度7,389百万円)の内数

#### く対策のポイント>

中山間地域等において、複数集落の機能を補完する**農村RMO\*の形成を推進**するため、**むらづくり協議会等が行う実証事業**のほか、協議会の伴走者と なる**中間支援組織の育成や全国プラットフォームの運営**等を支援します。

#### <事業目標>

- 農用地保全に取り組む地域運営組織(100地区 [令和8年度まで])
- 中山間地域で9戸以下の集落を有する市町村のうち、農村RMOが活動している市町村の割合(25%「令和11年度まで」)

#### く事業の内容>

#### 1. 農村RMOモデル形成支援

① 活動着手支援型

農村RMOの裾野を拡げるため、遊休農地活用の開始や高齢者支援への着手 など、農村RMOの形成につなげる取組を支援します。

【事業期間:1年、交付率:定額(ト限200万円)】

② 一般型

からづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、 生活支援に係る将来ビジョン策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業 等を支援します。

【事業期間:上限3年、交付率:定額(上限3,000万円(年基準額:1,000万円))】 ※地域計画と連携した農用地保全の取組を行う場合は年基準額1,200万円

### ③ 地域連携型

農村RMOの活動の定着に向けた活動継続計画の策定や、地方公共団体等と 連携した実証事業等を支援します。

【事業期間:上限5年、交付率:定額(上限300万円(将来ビジョン、活動継 続計画策定))、1/2以内(上限600万円(ビジョンに基づく調査、計画作成、実 証事業等の取組。ただし、初年度と最終年度は上限300万円))】

### 2. 農村RMO形成伴走支援

定額

農村RMO形成を効率的に進めるため、中間支援組織の育成等を通じた都道府 県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄 積・共有、研修等を行う**全国プラットフォームの運営**を支援します。

#### <事業の流れ>

玉

※対象地域:8法指定地域等

定額、1/2以内 定額、1/2以内 都道府県 地域協議会

※下線部は拡充事項

(1の事業)

都道府県、民間団体

(2の事業)

#### く事業イメージ>

※ 農村型地域運営組織(農村RMO: Region Management Organization) 複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と

併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

### 農村型地域運営組織(農村RMO)のイメージ

## ○○むらづくり協議会

自治会、町内会 婦人会、PTA 社会福祉協議会など

生活部

総務部

農業法人 など 交流部 産業部 資源部

集落協定、集落営農

- ●複数の集落による集落協定等と自治会など多様な地域 の関係者が連携して協議会を設立
- ●地域の話合いにより、農用地の保全、地域資源の活用、 生活支援に係る**将来ビジョンを策定し各事業を実施**

#### 農用地の保全、農業生産

A集落 B集落 C集落 D集落 E集落 F集落 集落 農業

集落 集落 協定 協定 協定 営農

#### 農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業

## 農村RMOモデル形成支援「活動着手支援型」

これまでの活動から 一歩踏み出し、 農村RMOの形成に つなげる取組を実施

農用地保全



農村RMOモデル形成支援「一般型」「地域連携型」

地域資源活用



生活支援

## 農村RMO形成伴走支援

【都道府県単位の支援】



中間支援組織による 人材育成研修

【全国単位の支援



情報・知見の蓄積・共有、 研修等の支援

将来ビジョン策定や調査・計画作成・実証等

「お問い合わせ先」農村振興局地域振興課(03-3501-8359)